

輸出事業計画

申請者名：京都やましろ農業協同組合、品目：抹茶

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・国内の取引先経由でサウジアラビア、アメリカ、フランスへ抹茶の輸出を行っている
- ・取引先から求められているSGS-HACCPの他にハラール、有機JASを取得している。
- ・要求量に対して生産量が少なく、輸出額が頭打ちとなっている

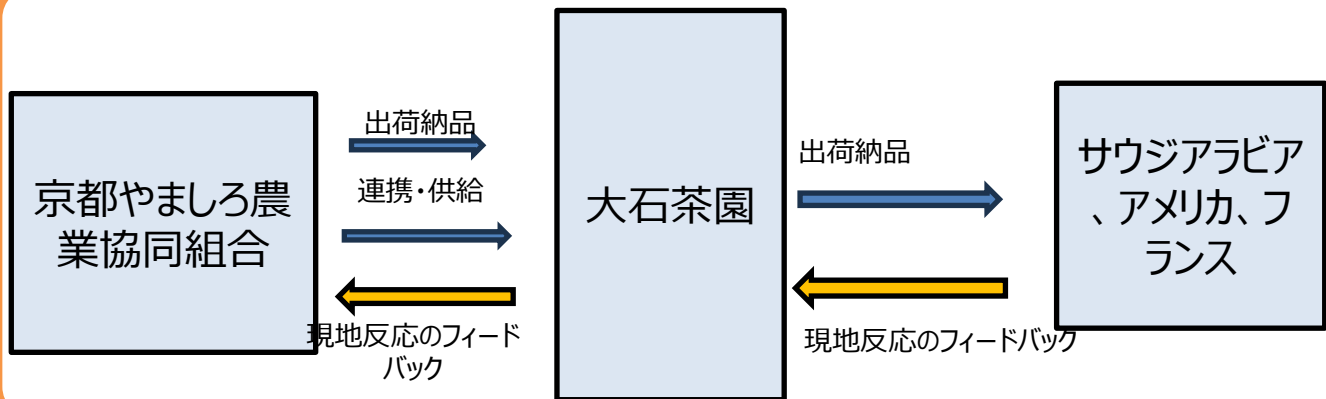
【課題】

- ・引き続きSGS-HACCPの認証が取引先から求められている。
- ・輸出量拡大にむけ、SGS-HACCP対応の製造ラインを増設する必要がある。

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・現在倉庫となっている建屋を改築し、SGS-HACCP対応仕様とする。
- ・SGS-HACCP認証対応の碾茶総合仕上げ機、粉碎機を導入し、製造ラインを増設し輸出額を拡大する。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	【現状】 令和6年度 (令和6年4月～令和7年3月)	【目標】 令和13年度 (令和13年4月～令和14年3月)
輸出額 (千円)	95,148	125,181
輸出量 (t)	47.9	63.0
輸出先国	サウジアラビア、アメリカ、フランス	サウジアラビア、アメリカ、フランス